

平成 29 年 2 月 14 日

財務部 F M推進課
(市役所内線 2590)
ダイヤルイン:0742-34-4969

奈良市立並松小学校の跡地活用について

平成 28 年度末に廃校する奈良市立並松小学校の跡地について、民間事業者に貸付、サッカーアカデミーの寮として活用します。

1. 活用事業の概要

有限会社天平フーズが経営している「大和高原ボスコヴィラ」では、世界を目指す高校生のためのサッカーアカデミー「BoscoVilla SoccerAcademy」を開講しており、同アカデミーの寮として閉校後の並松（なんまつ）小学校を活用します。寮生は高校生で、平成 29 年度から受入をします。

同社は本事業を通じて地域行事への参加、地産地消、地域雇用創出等に貢献をすることとし、また、本事業を推進するために、奈良市、並松地区自治連合会、奈良県立山辺高等学校、有限会社天平フーズの 4 者で協定を締結しました。（別紙 1 参照）

2. 民間事業者について（詳細は別紙 2 参照）

名 称：有限会社天平フーズ

所在地：奈良市今小路町 45-1

代表者名：中塚 隆子

【大和高原ボスコヴィラ】



3. 奈良市立並松小学校の施設概要

所在地：奈良市藺生町 1894

土地面積：14,706 m²

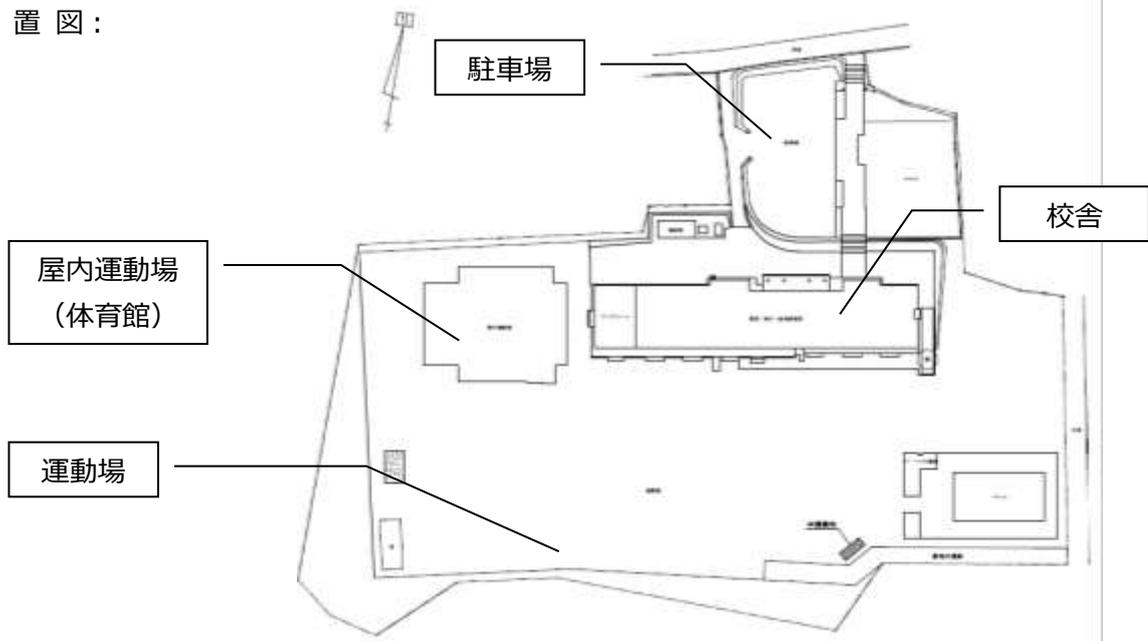
建物面積：3,673 m²

築年数：昭和 61 年

(参考 児童数 約 50 人 並松地区人口 約 1,450 人 (H29.1.1 現在))



配置図：



4. 本事業について

(1) 「BoscoVilla SoccerAcademy」開校の経緯

並松地区にある「大和高原ボスコヴィラ」は平成 21 年 4 月に「旧いこいの村大和高原」を引き継ぎ、この地で宿泊施設やアクティビティ等の営業をスタートしました。

サッカーグラウンドの整備を機に四方を山々に囲まれた緑豊かなこの大和高原にサッカーを目的として人が集まりだしたことから、サッカーを通じて青少年の健全育成に貢献し、組織・社会の中で個性と実力が発揮できるようサッカーアカデミーを開校しました。

(2) 本事業の詳細

■アカデミー生は寮から山辺高校へ。人材育成と地域の活性化をめざす。

全国からアカデミー生を募集、並松小学校を寄宿舍として寮生活を送りながら奈良県立山辺高等学校に 3 年間通学、1 学年 25 名が定員、3 年間で 75 名の生徒を受け入れることで、山辺高等学校の定員割れの解消にも期待されます。

寮生活を送ることで、寮生同士だけでなく、地域活動への参加を通じて社会との交流が生まれ、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、スケジュールに沿った規則正しい生活の中で、サッカーを学びながら夜間の学習の時間も設けるなど、「サッカーを通して社会に貢献できる人間力を形成する」という本アカデミーの目的の下、廃校後も並松小学校は、アカデミー生が「自主自立」を学びながら地域の活性化に大きく寄与する場として生き続けることとなります。

1週間のスケジュール

時間	月	火	水	木	金	土	日
7:30AM	朝食						
8:30 AM ~3:45 PM	高等学校で授業					試合&練習	試合&練習
4:15 PM ~6:30PM	休息	サッカー練習					
7:00 PM ~7:30 PM	夕食					※月に1~2回程度、帰宅します。	
8:00 PM ~10:00PM	Free	※語学学習	Free	※語学学習	Free		

■ 確立されたコンセプト、充実した環境のサッカーアカデミー

▶ トレーニングコンセプト

成長が著しく吸収力のある高校生の時期に適切な課題・目標を設定し、一人の選手あるいは社会の一員として活躍していくときに、最高のパフォーマンスが継続して行える人材を育てていくという長期的な視点からトレーニングを行います。恵まれた環境で個々に応じた指導を与え、各選手の能力を高めます。

また、人生にとってかけがえのない「仲間」をつくります。本アカデミーは、そうした同じ育成機関で共にした仲間が深みと広がりのある人生を創り出すことをめざしており、本アカデミー卒業後も、培われた仲間意識を大切にしながら各界のリーダーとして育ててくれることを期待しています。

▶ トレーニング環境

Boscovilla サッカー場は標高 500m、四方を美しい山々に囲まれ、緑豊かな自然に恵まれた奈良市針町に位置します。このような素晴らしい最適な環境で、選手の心の安定と精神の集中を高め、潜在能力を引き出せる練習環境を作り上げています。



第1フィールド (人工芝)
 <ピッチ> 105m×68m
 <面積> 7,140㎡
 <人工芝>
 ロングパイル人工芝/ハイブリッドターフXP
 表面摩擦の少ない直鎖低密度ポリエチレン人工芝と特殊充填材のハイブリッド構造で、高い安全性と優れたプレー性能を両立。



第2フィールド (人工芝)
 <ピッチ> 105m×68m
 <面積> 7,140㎡
 <人工芝>
 ロングパイル人工芝/ハイブリッドターフXP
 表面摩擦の少ない直鎖低密度ポリエチレン人工芝と特殊充填材のハイブリッド構造で、高い安全性と優れたプレー性能を両立。



天然芝フィールド
 (ディフトン)
 <ピッチ> 105m×76m
 <面積> 7,980㎡

オーバーシードを施すことで、オールシーズン緑が美しい天然芝フィールド。

▶豊富な経験と実績を持つ一流スタッフによる指導体制

日本サッカー協会スポーツマネージメント、日本サッカー協会ライセンス保持者の一流の指導者が、日常の指導にあたります。また、総務・選手管理、スクールアドバイザー等のスタッフも含めて、生活面の指導も行い、ピッチ内・外とも スポーツ選手にふさわしい生活を身につけさせていきます。

Boscovilla Soccer Academy スタッフ

総監督：阿保和宏 (あぼ かずひろ)



- 1982年 鼓阪フットボールクラブ創部
- 1983年 小学校教諭
- 1987年 三碓フットボールクラブ創部
- 1995年 MCU 創部
- 1997年 インドネシア ジャカルタ海外日本人学校赴任
- 2002年 飛鳥フットボールクラブ創部
- 2007年 NPO 法人スクデットスポーツプランニング設立 理事長
- 2012年 大和高原ボスコヴィラサッカー事業部長就任
- 2016年 Boscovilla Soccer Academy 総監督就任

監督：馬場俊明 (ばば としあき)



- 1968年 北陽高等学校 卒業
- 1972年 大阪体育大学 卒業
- 株式会社ヤンマーディーゼル (現セレッソ大阪) 入社
- 1985年 松下電器サッカークラブ(現ガンバ大阪) ジュニアコーチ
- 1988年 ガンバ大阪ジュニアコース監督
- 1997年 桃の里ウエルネスジュニアユース監督
- 2004年 NPO 法人ピースステージ設立 理事長
- 2006年 奈良県立香芝高等学校サッカー部 ヘッドコーチ
- 2016年 Boscovilla Soccer Academy 監督

名誉顧問コーチ：アドリアーノ・フェヘイラ・マルティンス



所属クラブ

- 海外：SC インテルナシナル (ブラジル) 等
- マラガ CF (スペイン) 等
- 国内：セレッソ大阪、ガンバ大阪、徳島ヴォルティス、ヴァンフォーレ甲府 等に所属

コーチ：ジェロニモ アルベス



- 2006年 Friburguense AC
- 2007年 Formiga EC
- 2008年 ArtSul FC
- 2009年 Avai FC
- 2010年 As Laranja Kyoto FC
- 2012年 Unsommet FC
- 2014年 ReinMeer Aomori FC
- 2016年 Touresouru FC

・関係者

有限会社天平フーズ

代表取締役 中塚隆子 (なかつか たかこ)



Boscovilla Soccer Academy

GM : 播摩稔 (はりま みのる)



▶アカデミー生の「心・技・体」の成長を総合的にサポート

専門知識を有したスタッフにより、メディカル、食事、フィジカル、学習等のサポート体制を整えることで、より良い成長を促進します。

•メディカル面

宇陀市立総合病院 高井病院など

•食事面

伝統ある日本料理店「天平フーズ」が献立メニューを作ります。

•フィジカル面

スタッフ及びコーチ兼トレーナーが選手のケアにあたります。

•学習面

論理的思考、英語、自立した個人として必要な知識、能力、社会性、リーダーシップを育むための教育を行います。

協 定 書

奈良市（以下「本市」という。）が行う廃校となる並松小学校跡地の土地、建物及び工作物（以下「跡地」という。）の活用に係る事業（以下「本事業」という。）に関して、本市、有限会社天平フーズ（以下「事業者」という。）、並松町自治会（以下「自治会」という。）及び奈良県立山辺高等学校（以下「高校」という。）との間で、以下のとおり合意し、本基本協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、本市が、自治会からの跡地の活用に関する地域活性化事業提案を受け、事業者が本事業を実施する民間事業者として選定されたことを確認するとともに、本市、事業者、自治会及び高校が相互に協力し、跡地における事業施設の設置運営を円滑に進めるため必要な事項を定めるものである。

（並松小学校廃校後の地域活性化事業提案）

第2条 自治会は、並松小学校廃校後の跡地の活用方法として、事業者が実施するサッカーアカデミー（以下「アカデミー」という。）の寮として活用することを地元の地域活性化事業提案として本市に提案したものである。

（跡地の使用）

第3条 本市は、並松小学校廃校後の跡地の活用方法として、事業者が実施するサッカーアカデミーの寮として活用させるため、事業者に対し、校舎の改装等の承諾を有益費償還請求権を放棄させた上で行い、必要に応じて、別途の合意、行政財産使用許可、土地建物賃貸借契約及び土地建物売買契約を行うこととする。

（相互協力）

第4条 本市、事業者、自治会及び高校は本事業が円滑に進むよう互いに協力するものとする。

（地域との協調）

第5条 事業者は、自治会及び地元関連企業その他の跡地周辺地域の主体との協調に務め、本事業を通じての地域行事参加、地産地消、地域雇用創出等の実現その他跡地周辺の地域社会への参画と協調による地域の活性化が進むよう格別の配慮を払うものとする。

(高校への配慮)

第 6 条 事業者は、高校との協調に努めるとともに、アカデミーの活動ないし本事業と、アカデミーに所属する高校の在校生の学校生活との調和に格別の配慮を払わなければならない。

(譲渡禁止)

第 7 条 事業者は、本市より跡地の譲渡を受けた場合は、事前に本市の書面による承諾を得ない限り、第三者に対して譲渡してはならない。

(権利・義務承継の禁止)

第 8 条 事業者は、本協定書上の地位ないし本協定書に基づく個別の権利又は義務を、事前に本市の書面による承諾を得ない限り、第三者に対して移転若しくは譲渡し又は第三者の権利若しくは義務の目的としてはならない。

(本協定の有効期間)

第 9 条 本協定の有効期間は、本協定が締結された日を始期とし、本協定の当事者四者によって実施される本事業が終了する日をもって本協定は終了するものとする。

(防災協定の締結)

第 10 条 本市と事業者は、奈良市内に地震その他の災害が発生した場合において、災害により住家が焼失・損壊し、生活の本拠を失うなど避難ないし支援を要するに至った者に対し、一時的な避難措置など災害救助対応を円滑に遂行することを目的とした、災害時における協力に関する協定を別途締結するものとする。

(協議)

第 11 条 本市、事業者、自治会及び高校は、当事者のいずれかが本協定に違反した場合には、他の当事者の請求により当事者四者の参加する協議会を開催し、本協定の趣旨が実現されるよう善後策を講じるものとし、本協定に定めのない事項については、相互に誠実に協議の上決定するものとする。

本協定の締結を証するため、本協定書を 4 通作成し、本市、事業者、自治会及び高校が記名押印の上、各自 1 通を保有する。

会社概要

会社名：有限会社 天平フーズ（てんぴょうふーず）

所在地：〒630-8207 奈良市今小路町 45-1

電話：0742-27-7272

F A X：0742-27-7255

代表者名：中塚 隆子

事業内容：新・大和料理天平倶楽部の経営

大和高原ボスコヴィラの経営

食料品の販売

◆天平倶楽部（てんぴょうくらぶ）

所在地：〒630-8207 奈良県奈良市今小路町 45-1



◆大和高原ボスコヴィラ

所在地：〒632-0251 奈良県奈良市 針町 3918

